

マクロ経済学

次の2問から、1問を選択し解答しなさい。

問1 AD-AS分析（総需要—総供給分析）に関する次の設問に答えなさい。

(1) 財市場、貨幣市場、労働市場の分析を通して、総需要曲線と総供給曲線が導出される過程を説明しなさい。

(2) 政府支出 G と名目貨幣供給量 M を所与として、物価水準、国民所得がどのように決定されるか、説明しなさい。また、AD-AS分析のフレームワークの背後にある財市場、貨幣市場、労働市場の分析を通して、利子率、国民所得、労働量、賃金率がどのように決定されるか、説明しなさい。

(3) 上述の状況のもとで、新たに買いオペという金融政策がとられた場合、経済の各変数にどのような影響が生じるか、説明しなさい。

問2 2期間を生きる消費者を考える。生涯効用関数は、 $\ln(C_0) + \beta \ln(C_1)$ 、ただし C_i は第 i ($i=0,1$)期の消費、 \ln は自然対数(\log_e)である。この消費者は第0期に労働所得 W_0 を得るが、第1期はリタイアして労働所得を得ることはできない。0期から1期までの金利を r 、0期の貯蓄を S とする。この消費者は0期の期初には資産を持っていない。

(1) この消費者の生涯での予算制約式を定式化せよ。

(2) 生涯効用を最大化する C_0^*, C_1^* を計算せよ。

(3) 税率 τ の賃金税が課される場合の生涯効用を最大化する \bar{C}_0^*, \bar{C}_1^* を計算せよ。ただし、この賃金税には控除はなく、限界税率は常に τ で一定であるとする。つまり、労働所得 W_0 のうち τW_0 が徴収されるものとする。

(4) 税率 $\hat{\tau}$ の支出税（消費税）が課される場合の生涯効用を最大化する \hat{C}_0^*, \hat{C}_1^* を計算せよ。次に、 $\tau = \hat{\tau}$ の時に、 \hat{C}_0^*, \hat{C}_1^* と \bar{C}_0^*, \bar{C}_1^* との大小関係を調べよ。ただし、この支出税には控除はなく、限界税率は常に $\hat{\tau}$ で一定であるとする。つまり、支出額 C_i に対して $\hat{\tau} C_i$ が支出時点で徴収されるものとする。